

はじめに

尾道は歴史、文化、芸術を育み、現在も瀬戸内の十字路として様々な魅力をもつまちです。2006年二市三町が全て合併して島嶼地域、市街地域、中山間地域と三つの異なった地域環境をもつまちとして新たに船出いたしました。それらの地域では四季の移り変わりの美しさを育み、尾道特有の恵みを与えてくれる気候風土に富み、また頼山陽がこの瀬戸内を「山紫水明」と讃えた美と文化を持ち、様々な地域産業の集積地として時代を刻んできた歴史都市です。

尾道大学地域総合センターは地域と共に大学として「何ができるか」という課題を持って発足しました。経済、文学、美術を通して、この尾道とふれあったときに見え隠れする「地域の課題」に少なからずもチャレンジ精神を持って活動していくことが地域貢献だと考えています。また郷土を大切に育む気持ちとともに、われわれ市民は、現在残っている自然環境などを維持管理していかなければなりません、また観光都市としての安心・安全の地域づくりを推進していくこともこれからの地域の課題です。これらの様々な課題を地域がどう対処し活動すれば、より豊かな地域創造ができるのか、広い視野を持ってリサーチしていきたいと考えています。

本書は2006年から尾道大学地域総合センターによって行われている2008年度「尾道学講座」を集録したものです。この尾道大学叢書は尾道大学教員による各自の専門分野のテーマを切り口に地元尾道を研究し、その成果の一端をしまなみ交流館大会議室で発表したものです。

尾道大学地域総合センター長

稲田 全示